

本会の活動から

Tokyo健康ウォーク2023に協力

ウォーキングコースを歩きながら、楽しく大腸がんについて学んでいく参加型のイベント「Tokyo健康ウォーク2023」（主催 東京都、ブレイブサークル運営委員会）が2023年11月12日、都立高井戸公園をスタート・ゴール会場として杉並区で開催され、1,268人の市民が参加した。

本会は、40歳以上の希望者を対象とした「無料大腸がん検診」に協力。464人の便潜血検査の検体を受け付けた。

東海大学生の現場実習に協力

本会では毎年、東海大学医学部看護学科が行う公衆衛生看護学に関する統合実習に協力している。今年度も9月28日に6人の学生を受け入れ、健康診断や健康づくり支援活動および保健師活動に関する講義などを行った。

産業医科大学生の現場実習に協力

本会では毎年、産業医科大学が医学部の5年生を対象に行っている産業医学現場実習に協力している。今年度は12月4～8日の5日間、医学生3人を受け入れ、健康診断や健康づくり支援活動および産業保健現場における産業医や保健師の役割と活動に関する講義などを行った。

第29回健康づくり懇話会総会を開催

本会と本会のユーザーが、健康づくりに役立つ情報交換と相互交流を目的に運営している健康づくり懇話会の第29回総会を10月4日、都内のホテルで開催し、約100人が参加した。

総会では、佐藤裕司先生（富士通 健康推進

本部 主幹産業医）による特別講演「健康経営——テレワーク時に対応すべき健康管理や生産性低下防止のための取り組み」や小山一郎先生（旭化成 健康経営推進室 統括産業医）によるテレワークを健康経営に活かすための事例紹介などが行われた。

第68回予防医学事業推進 全国大会に参加

第68回予防医学事業推進全国大会（主催 予防医学事業中央会、島根県環境保健公社）が2023年10月27日、「afterコロナ 国民が健康で活力ある生活を送る 新たな社会を目指して」をテーマに島根県松江市で開催され、中央会支部の関係者をはじめ県内外から220人が参加した。

記念式典では、予防医学事業の発展・向上に顕著な功績のあった約40人の表彰が行われ、本会からは統計事務部と母子保健検査部の職員2人に奨励賞が贈られた。

学術集会への参加等

- 第64回日本先天性代謝異常学会学術集会が10月5～7日、大阪府大阪市で開催され、理事長の久布白兼行と母子保健検査部小児スクリーニング科の職員2人が参加した。このうち同科の渡辺和宏は「東京都における拡大新生児スクリーニングの試験研究（第3報）」と題して本会の取り組みについて発表した。
- 第32回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会が10月14～15日、東京都千代田区で開催され、理事長の久布白兼行と地域・学校保健事業部、母子保健検査部の職員3人が参加した。